

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 26日

青森県知事 殿

提出者
住 所 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字二又19
氏 名 東和建设株式会社
代表取締役 川畑 利光
電話番号 0175-63-3656

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	東和建设株式会社
事 業 場 の 所 在 地	青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字二又19
事 業 の 種 類	建設業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	574 t	全 処 理 委 託 量	574 t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自 ら 熱 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t

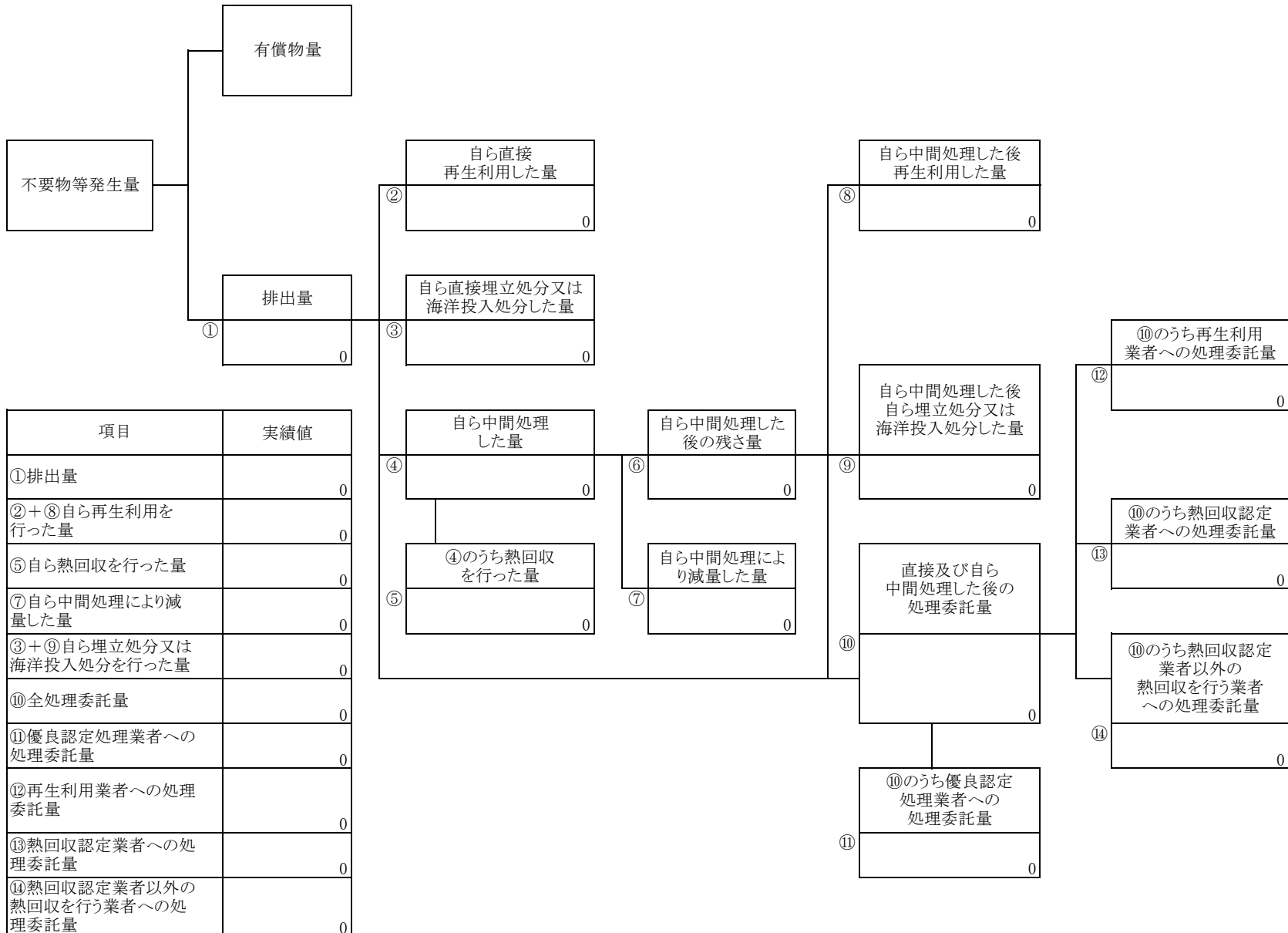
※事務処理欄

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔第2面入力支援用シート〕

名 称	計 画 の 実 施 状 況													
	①排出量	②自ら直接 再生利用した量	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤ ④のうち 熱回収を行った量	⑥自ら中間処理 した後の残さ量	⑦自ら中間処理 により減量した量	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑫再生利用業者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
	(t)	(t)		(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)				
産業廃棄物の種類	当該事業場において 生じた産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自 ら再生利用した量	①の量のうち、中間処 理をせず自ら埋立処分 又は海洋投入処分した 量	①の量のうち、自ら中 間処理した産業廃棄物 の当該中間処理前 の量	④の量のうち熱 回収を行った量	自ら中間処理を 行った後の量	④の量から⑤の 量を差し引いた 量	⑥の量のうち、自 ら利用し、又は他 人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処 分を委託した量	⑪の量のうち、優良認 定処理業者への委託 処理量	⑫の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量(⑬、⑭ 除く)	⑬の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処 理業者への焼却処理委 託量	⑭の量のうち、認定熱回収施設設置者 以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
燃え殻														
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水汚泥														
下水汚泥														
建設汚泥														
その他の汚泥														
廃油														
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類														
ゴムくず														
金属くず														
ガラス陶磁器等くず														
鋳さい														
がれき類	529	0	0	0	0	0	0	0	0	529	0	529	0	0
コンクリート片	5									5		5		
廃アスファルト	524									524		524		
レンガ破片など														
石綿含有産業廃棄物														
ばいじん														
紙くず														
木くず	45									45				
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
動物のふん尿														
動物の死体														
政令13号物(上記廃棄物 の処理物であってこれらに 該当しないもの)														
建設混合廃棄物														
合計	574	0	0	0	0	0	0	0	0	574	0	529	0	0

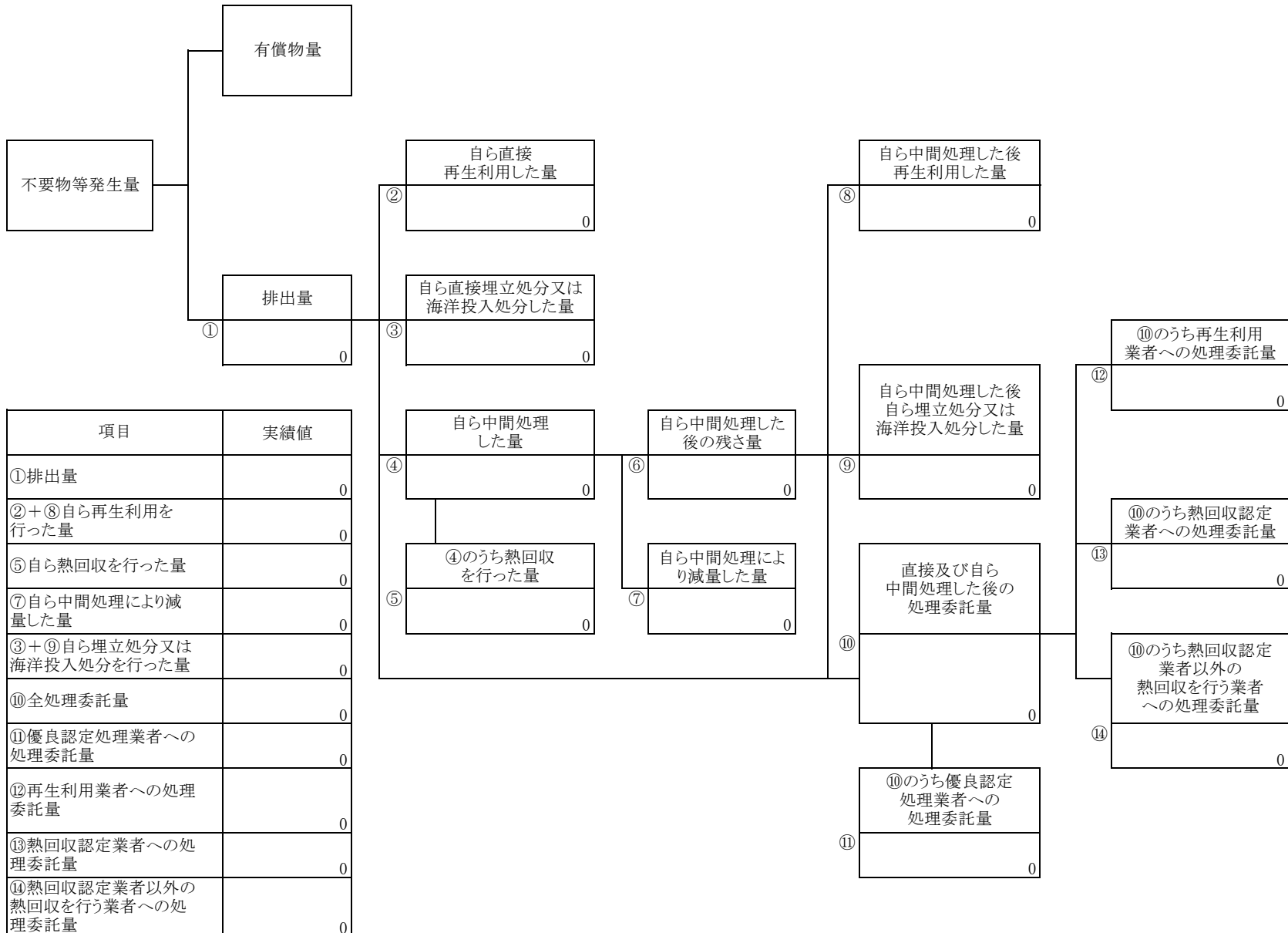
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 燃え殻)



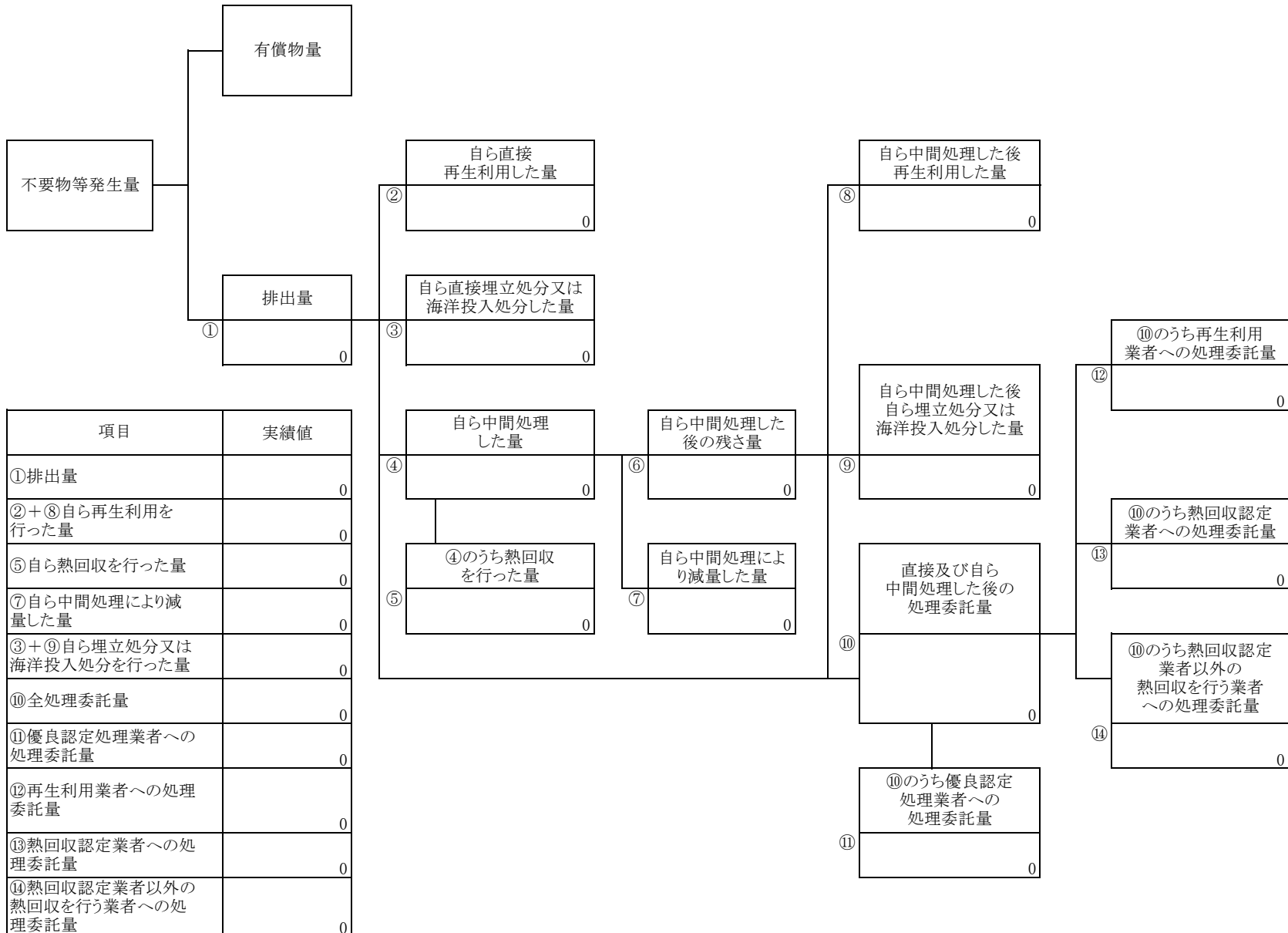
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 上水汚泥)



計画の実施状況

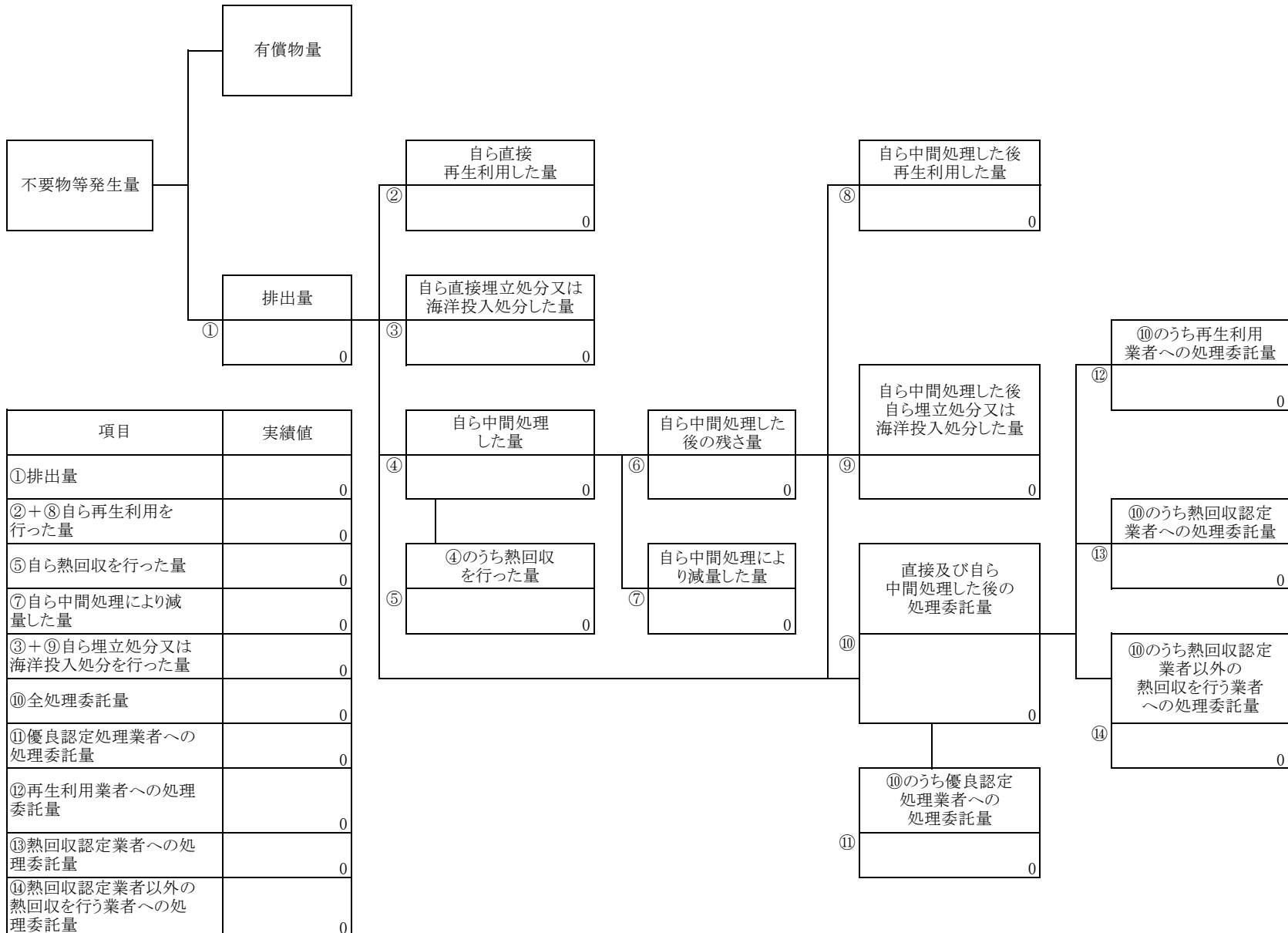
(産業廃棄物の種類: 下水汚泥)



計画の実施状況

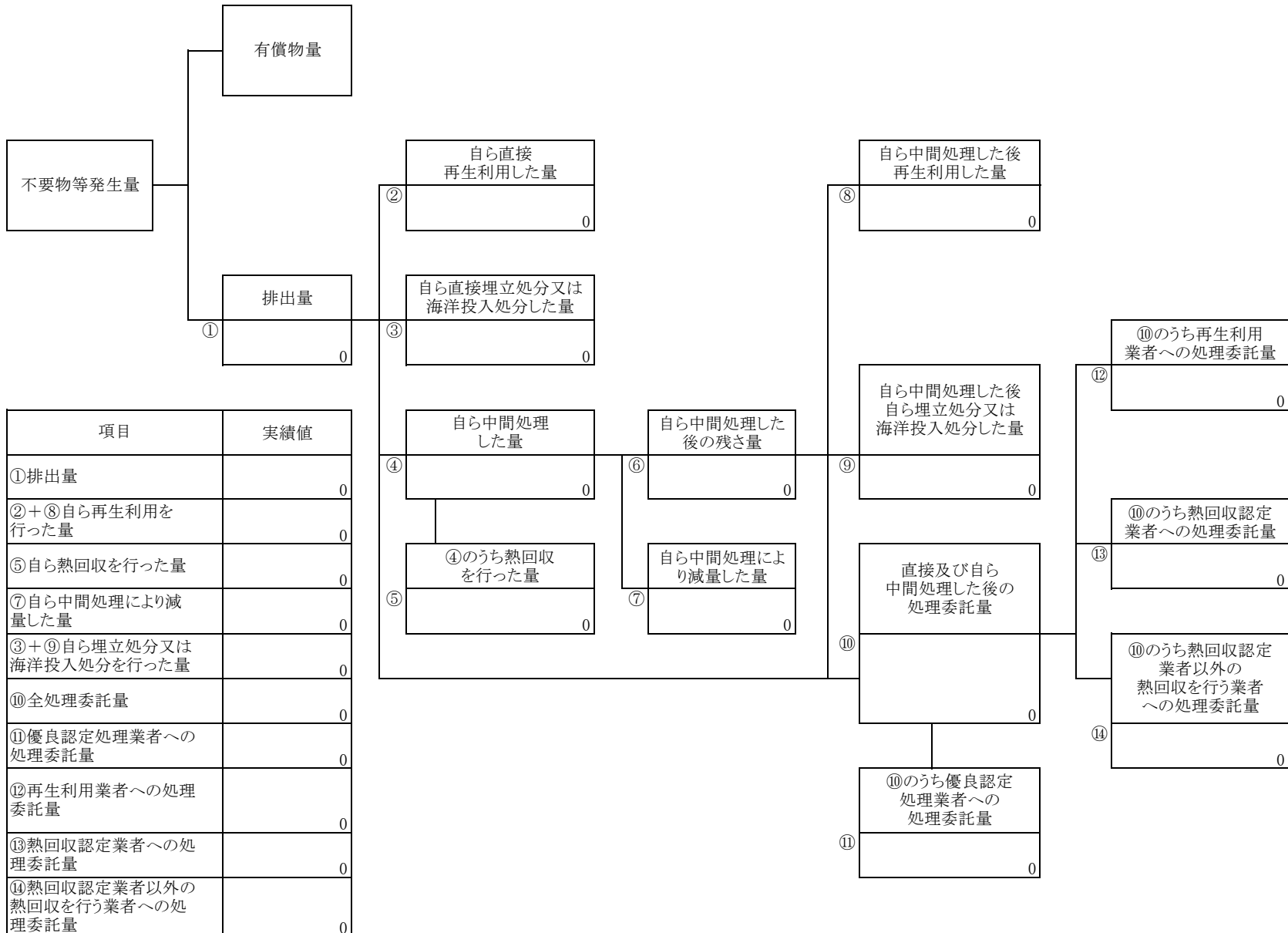
(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)

)



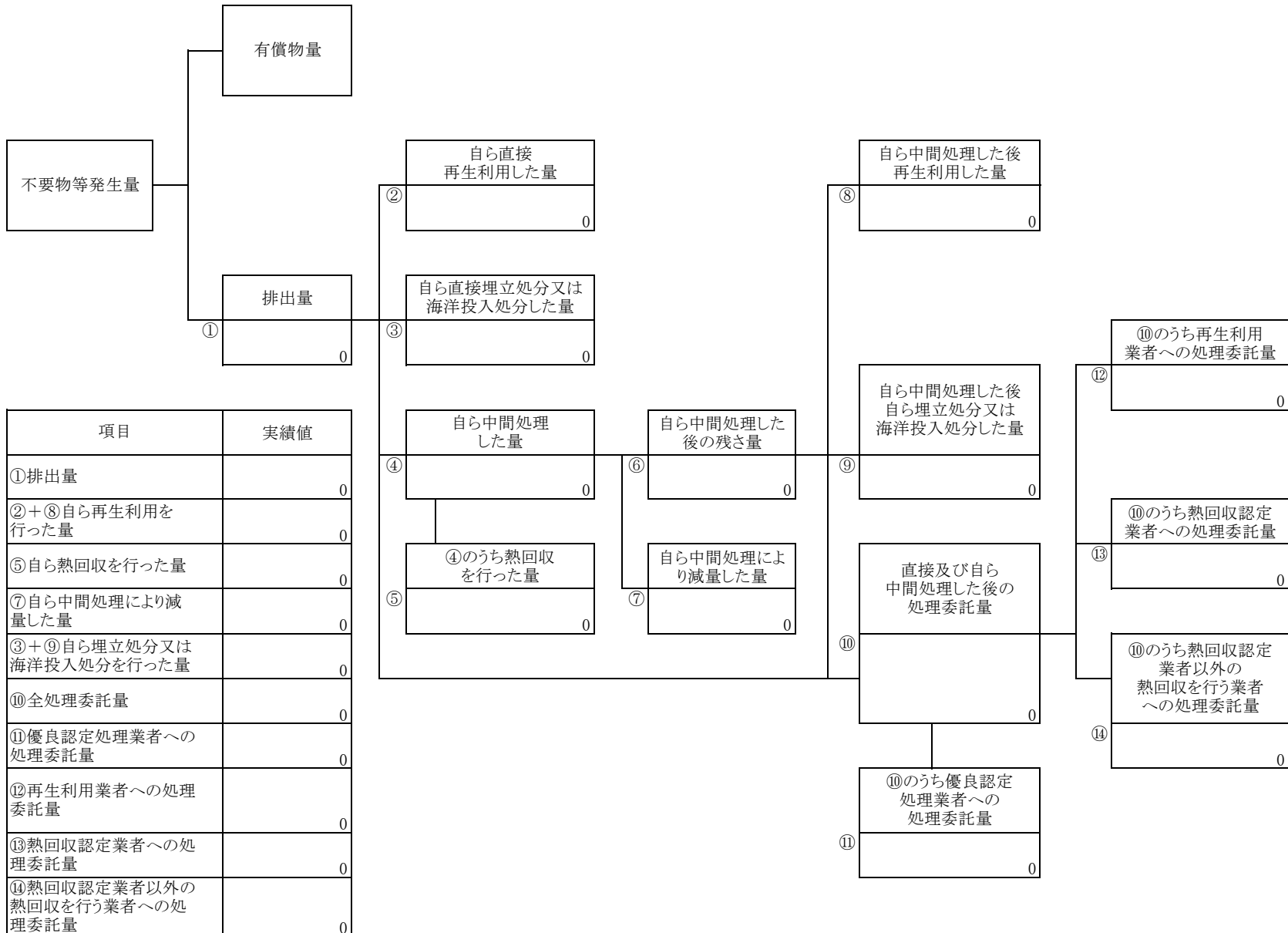
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他の汚泥)



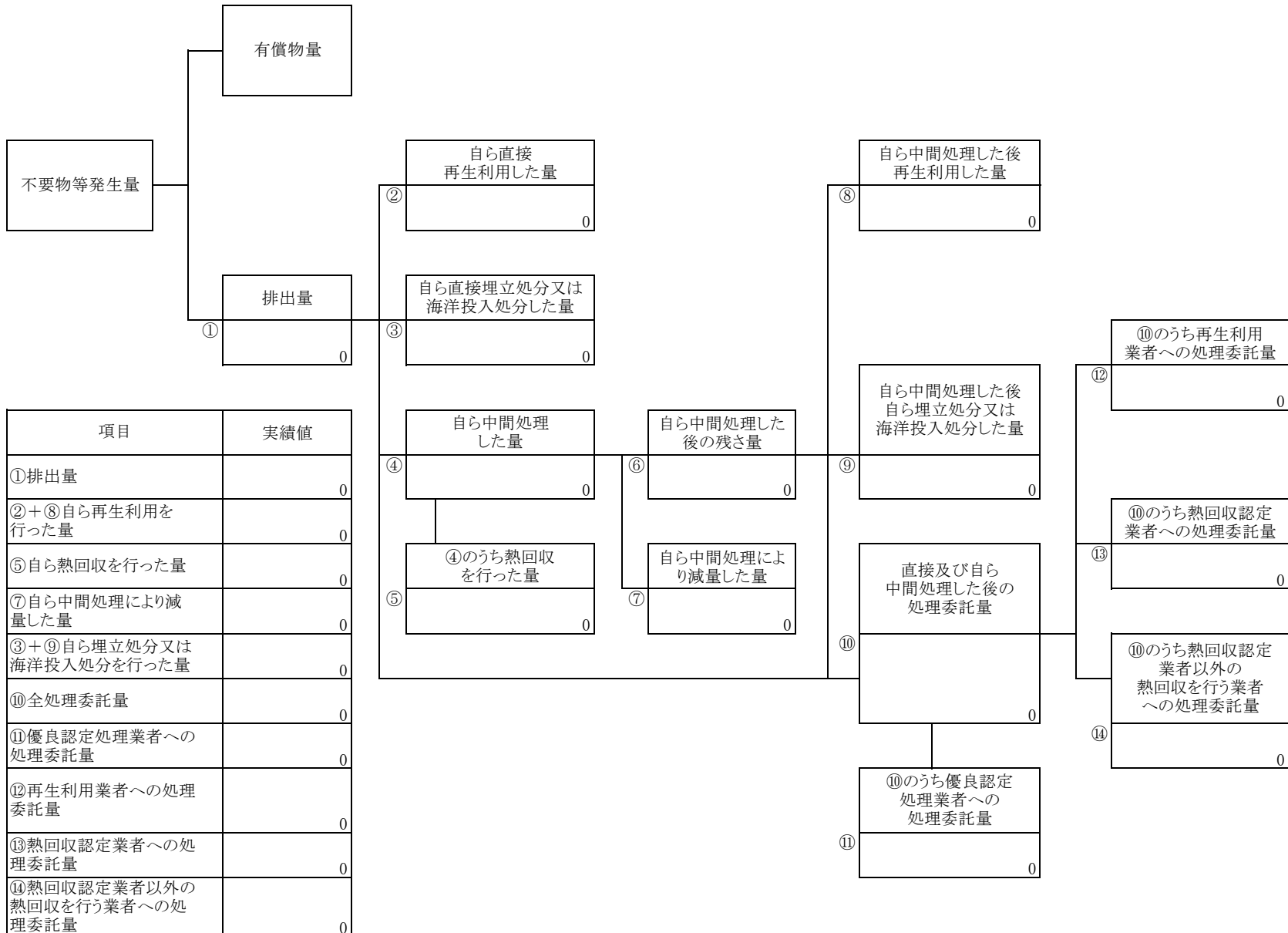
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



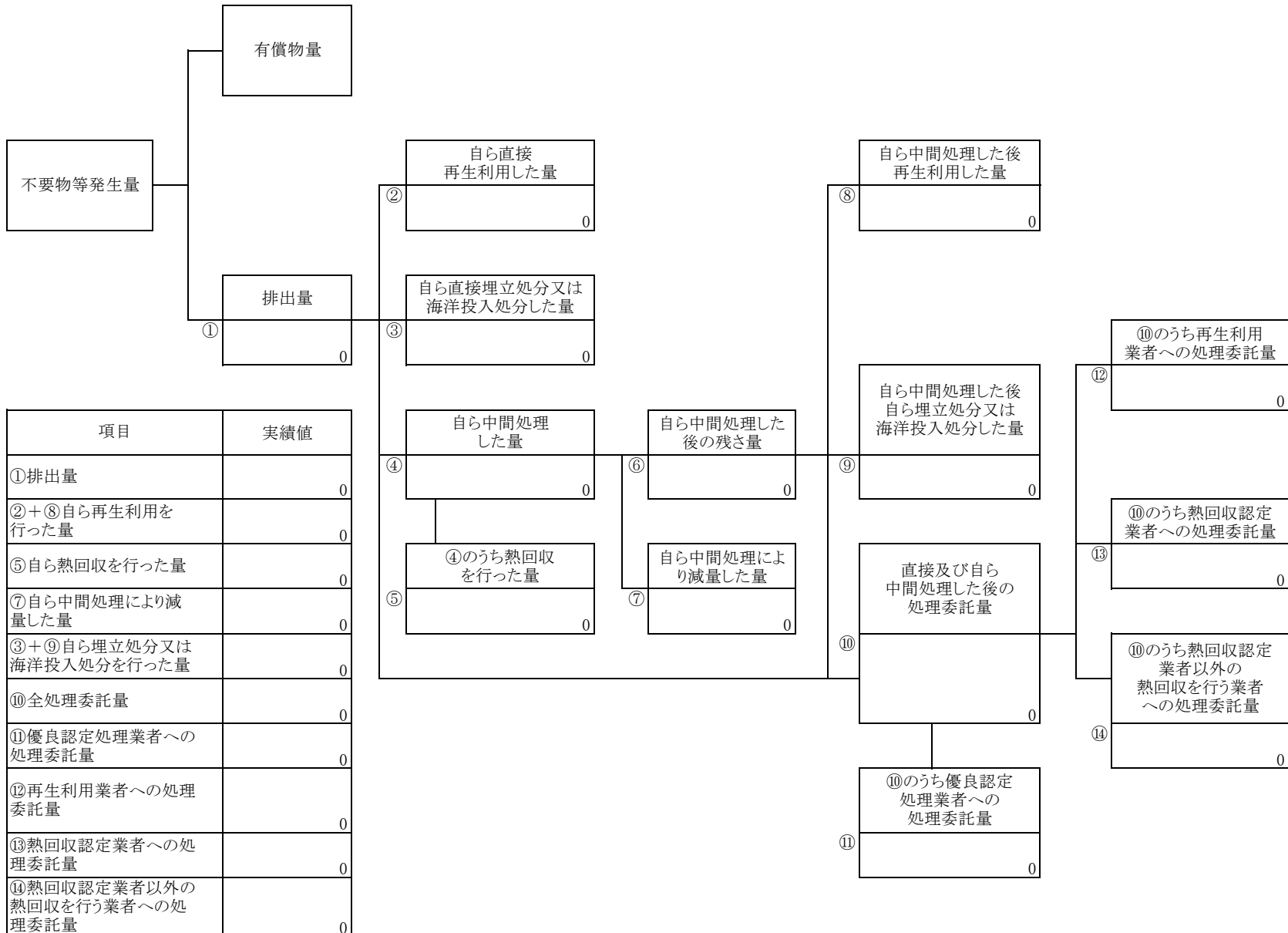
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ゴムくず)

)

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

②

0

③

0

⑧

0

⑨

0

⑫

0

⑬

0

⑭

0

④

0

⑥

0

⑤

0

⑦

0

⑩

0

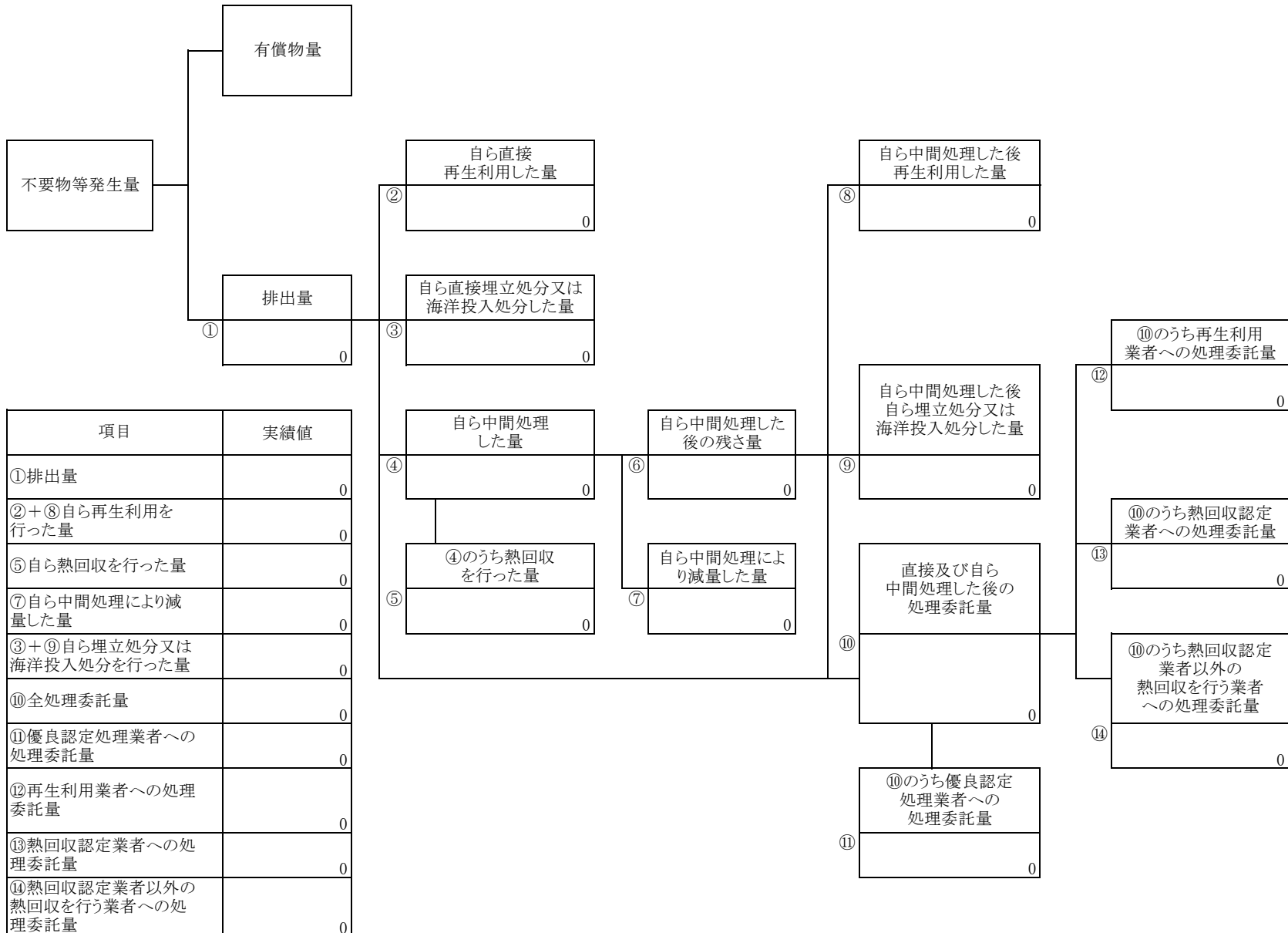
⑪

0

(第2面)

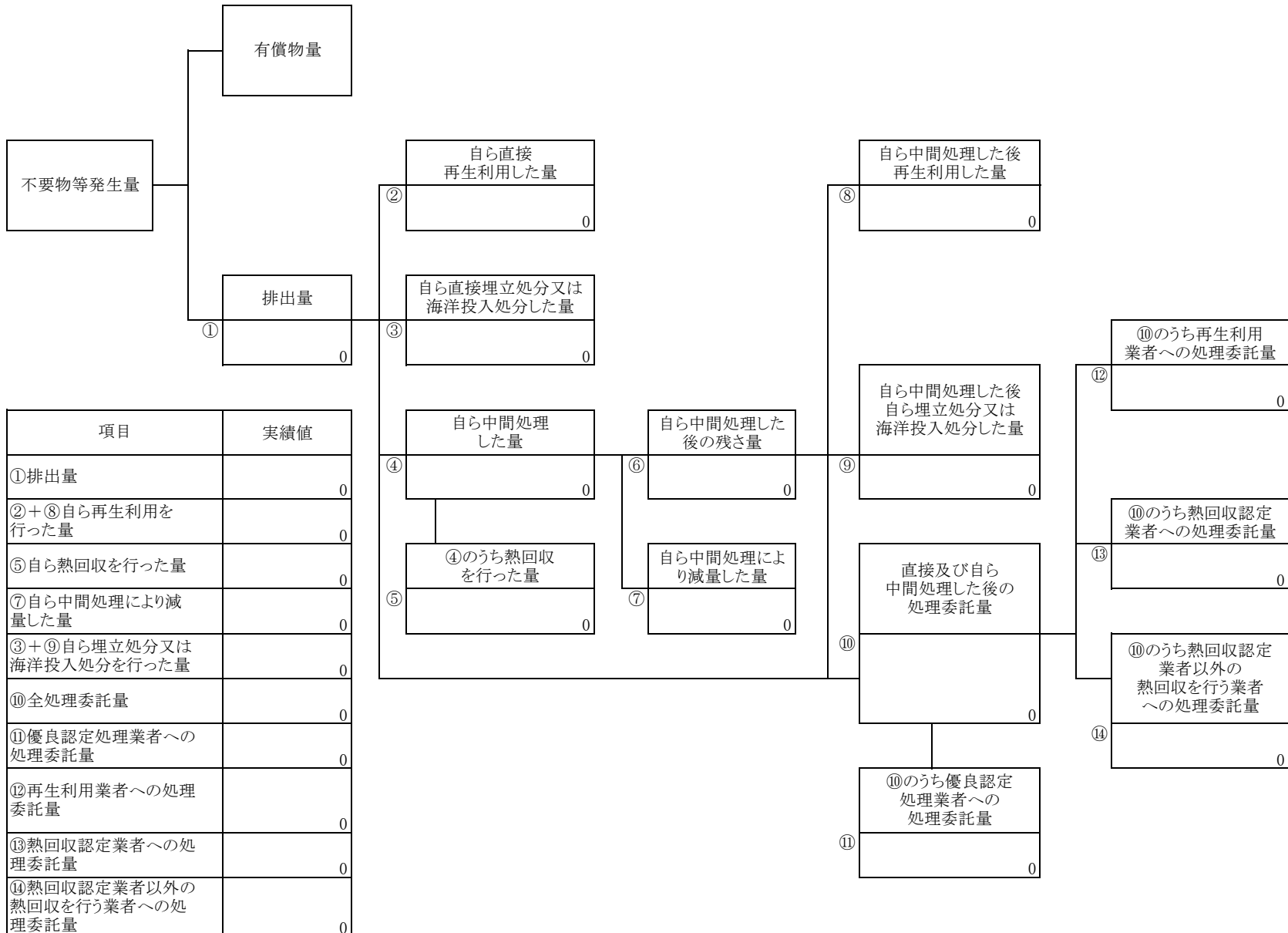
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



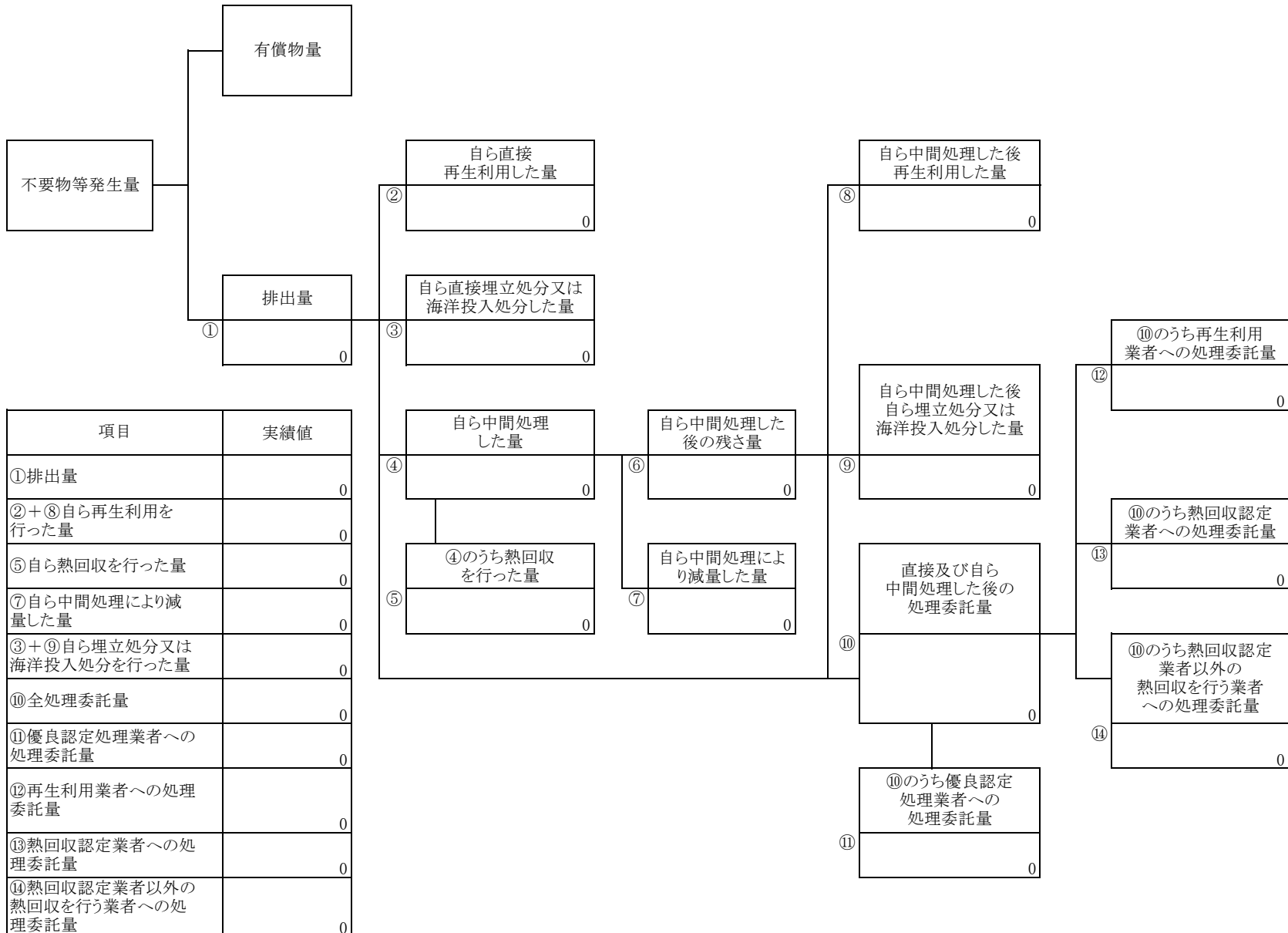
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)



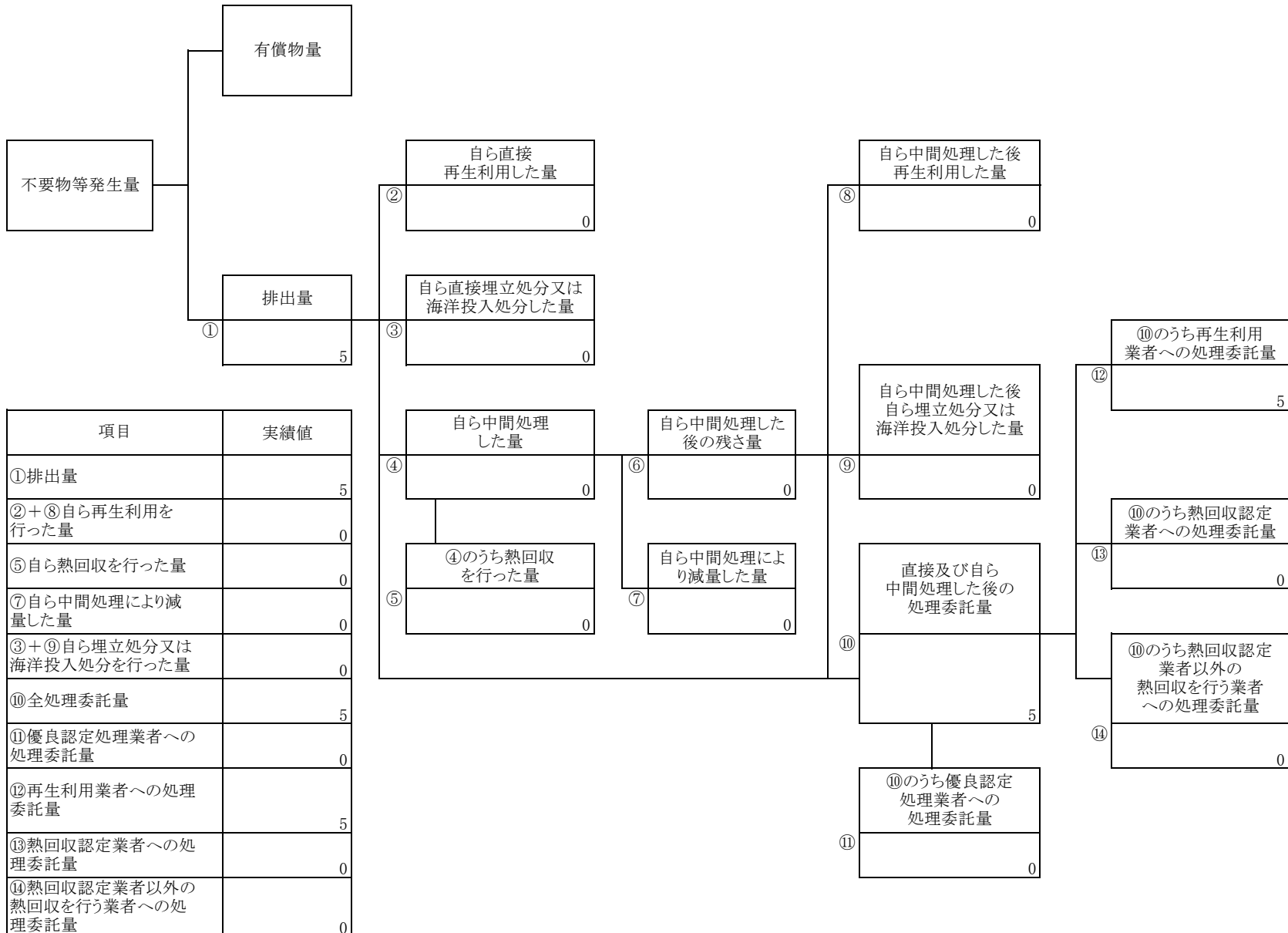
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鋳さい)



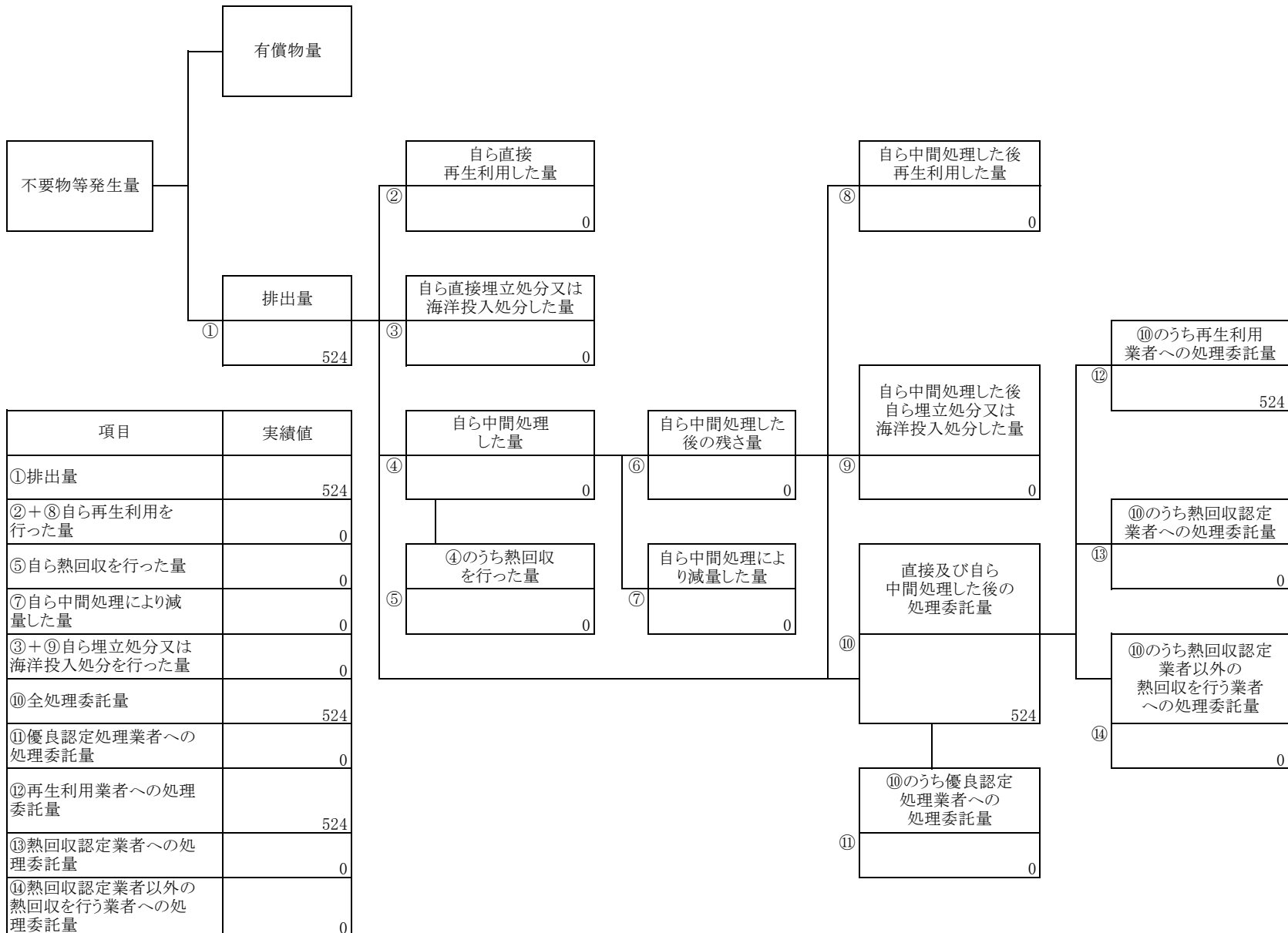
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)



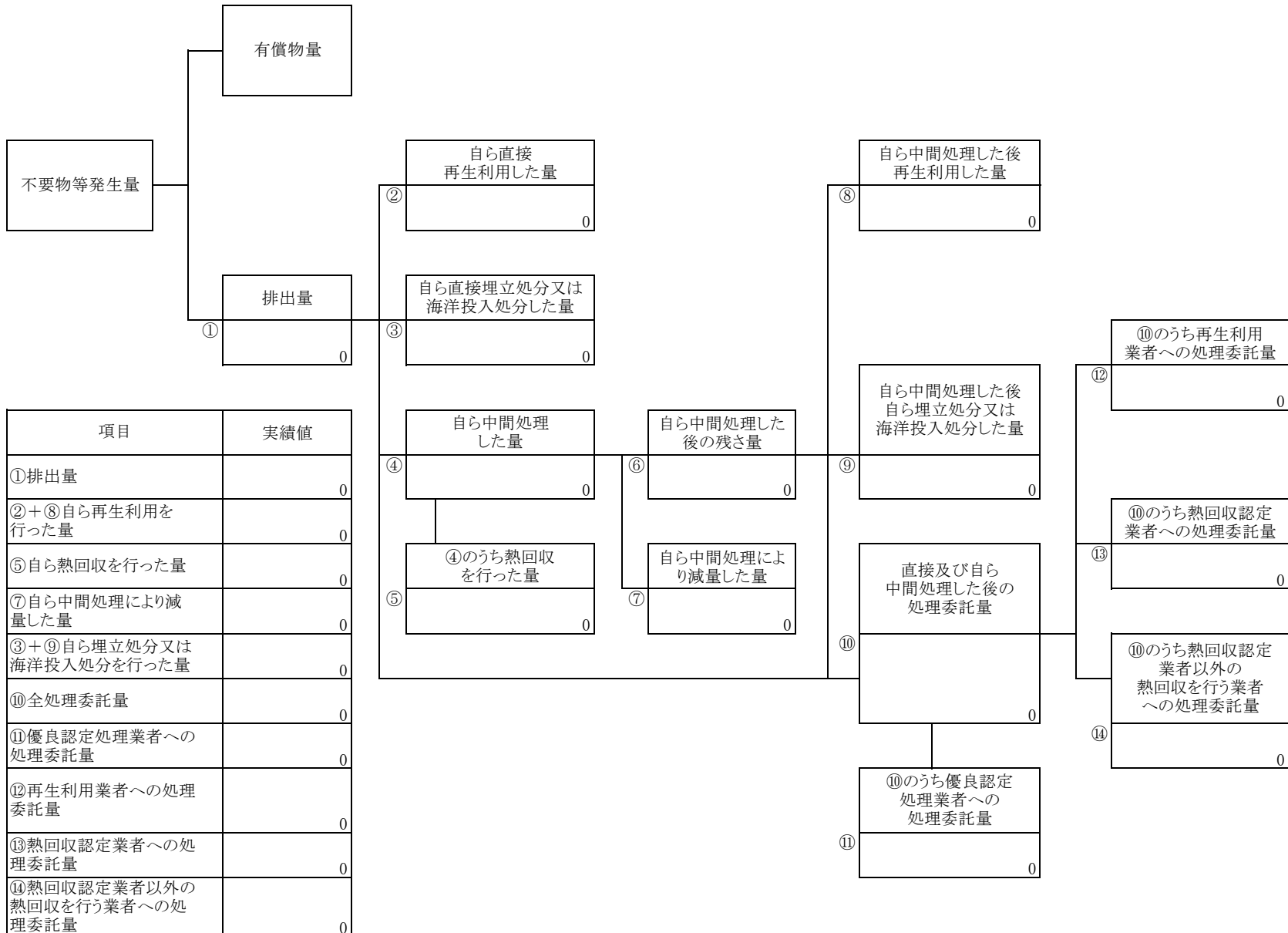
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アスファルト)



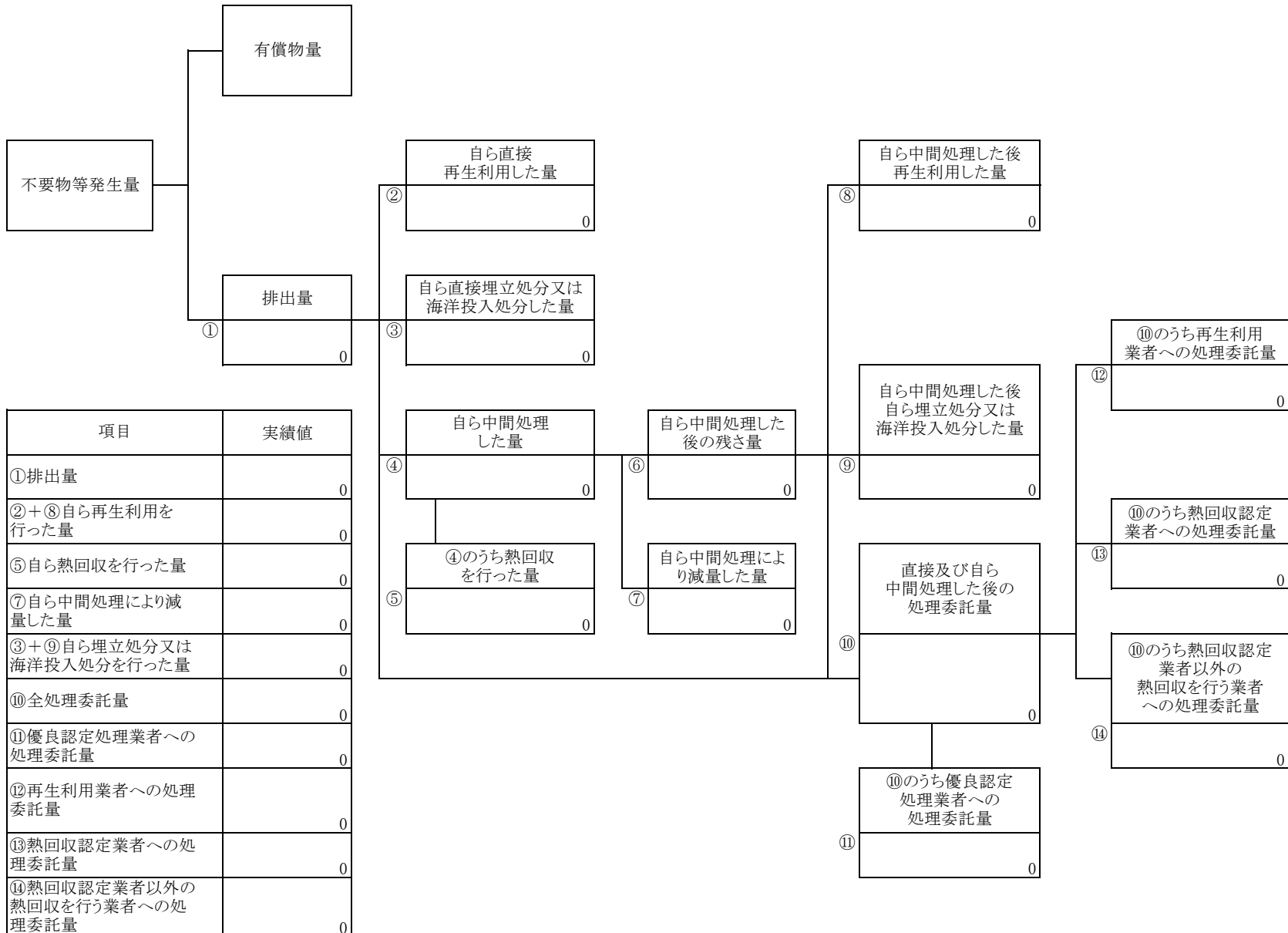
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: レンガ破片など)



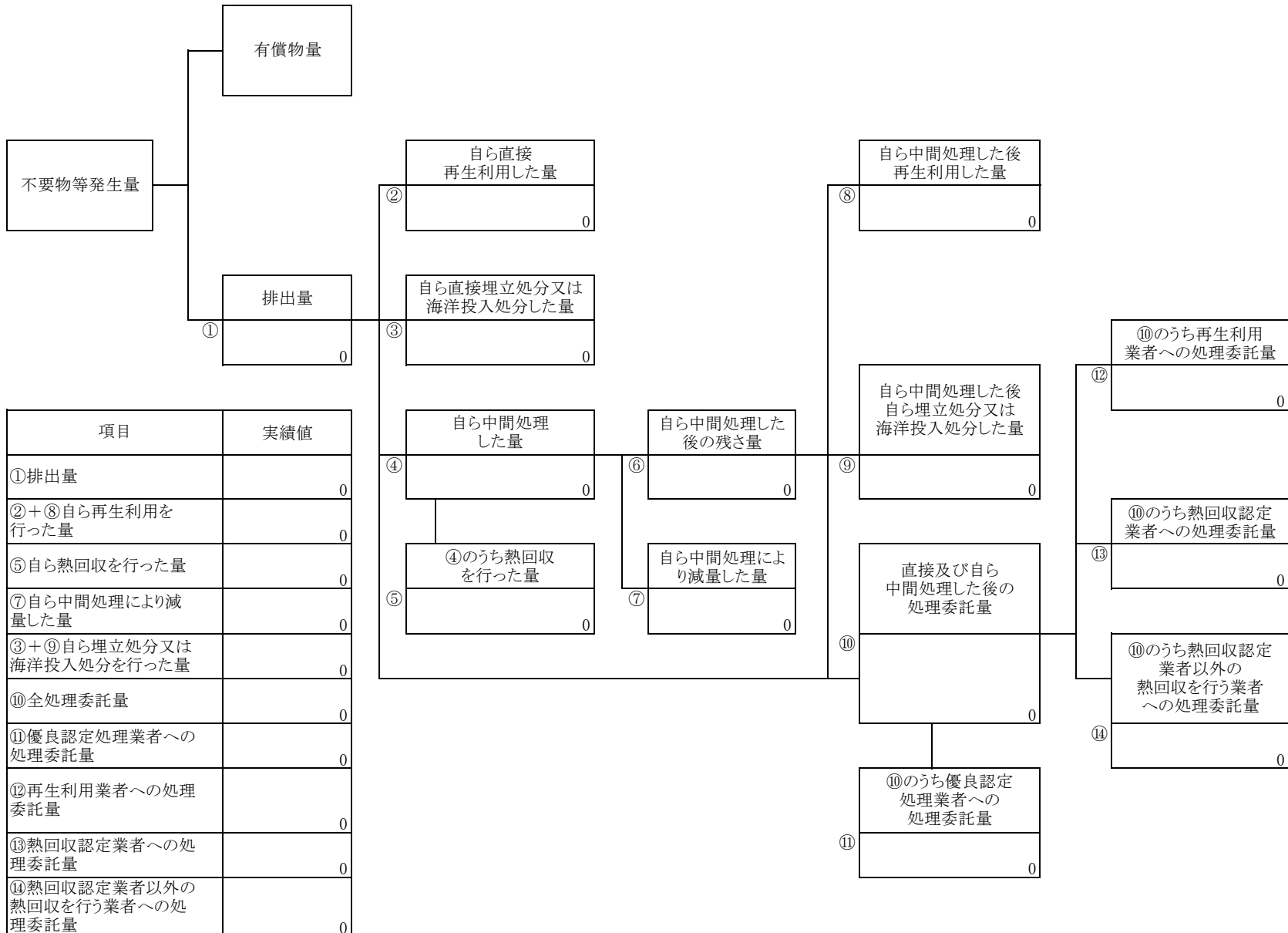
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



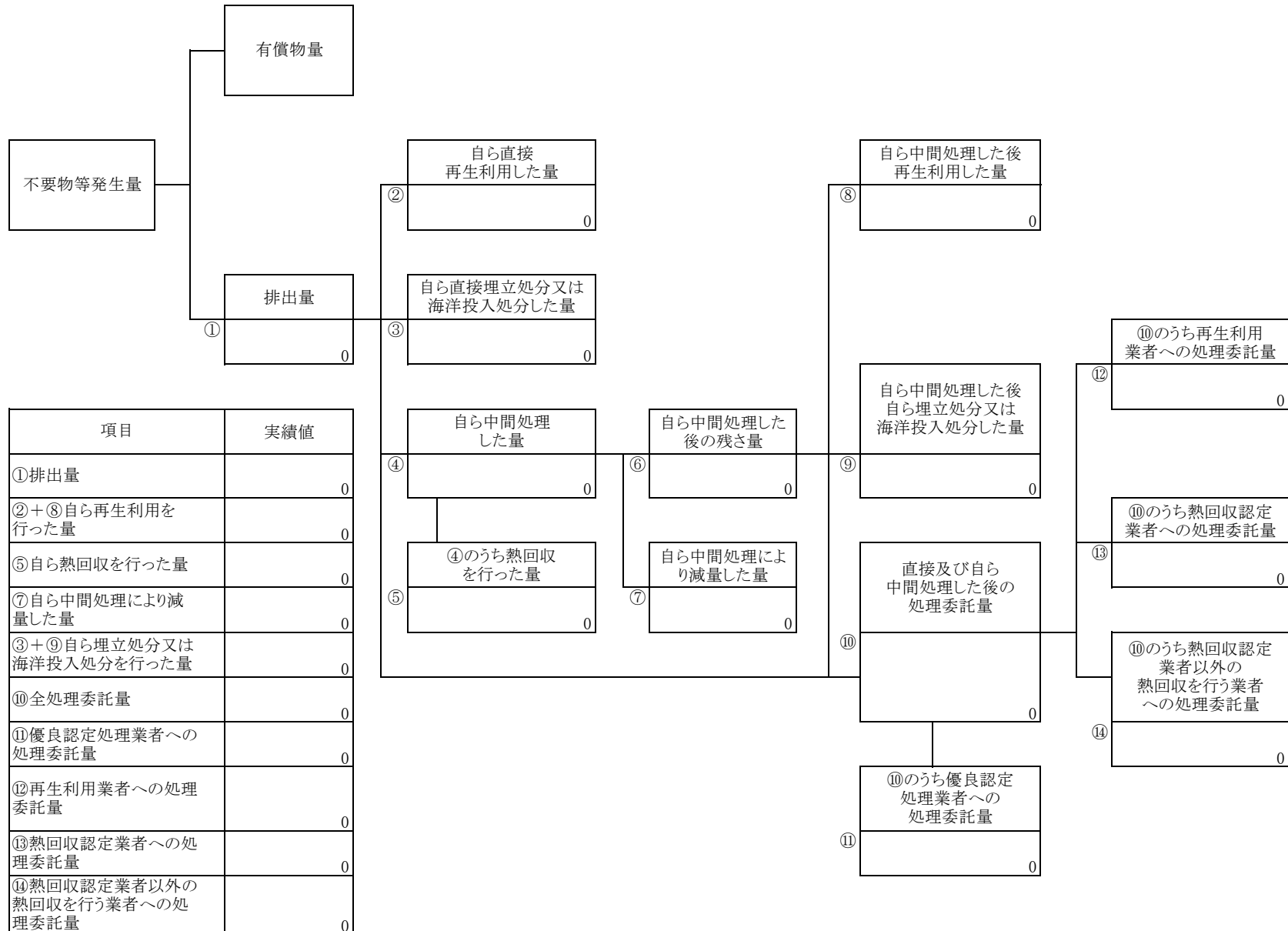
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ばいじん)



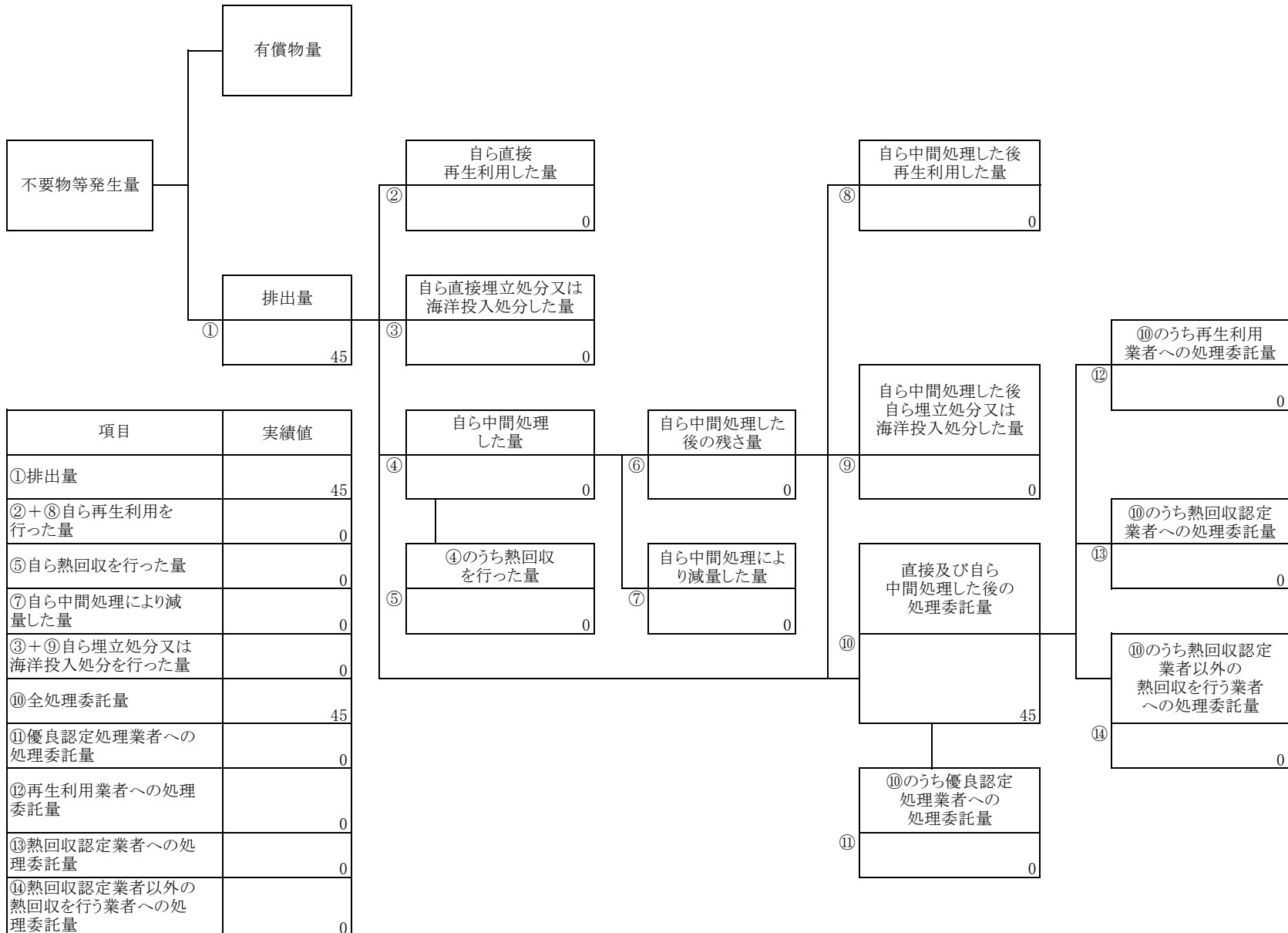
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



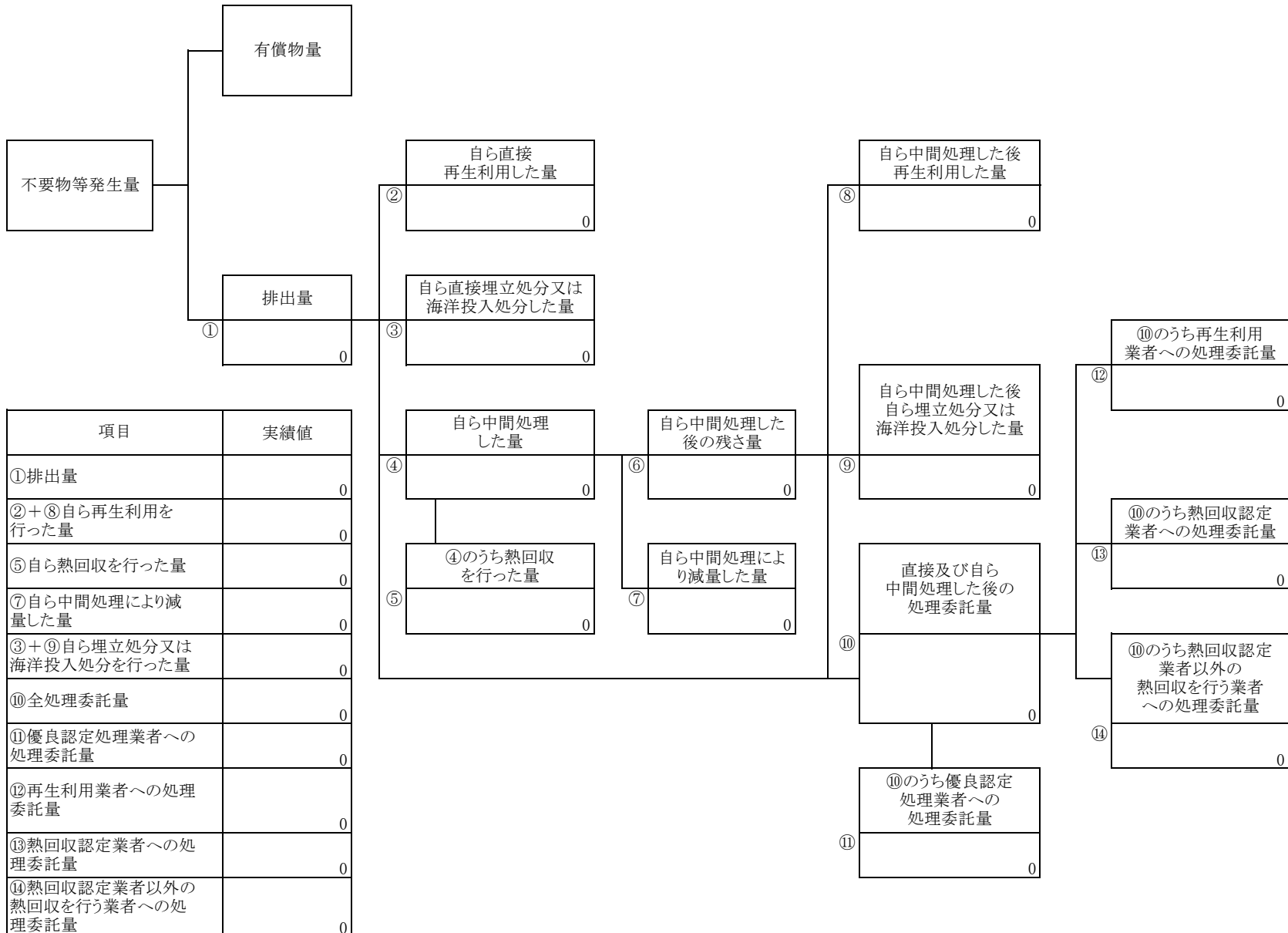
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



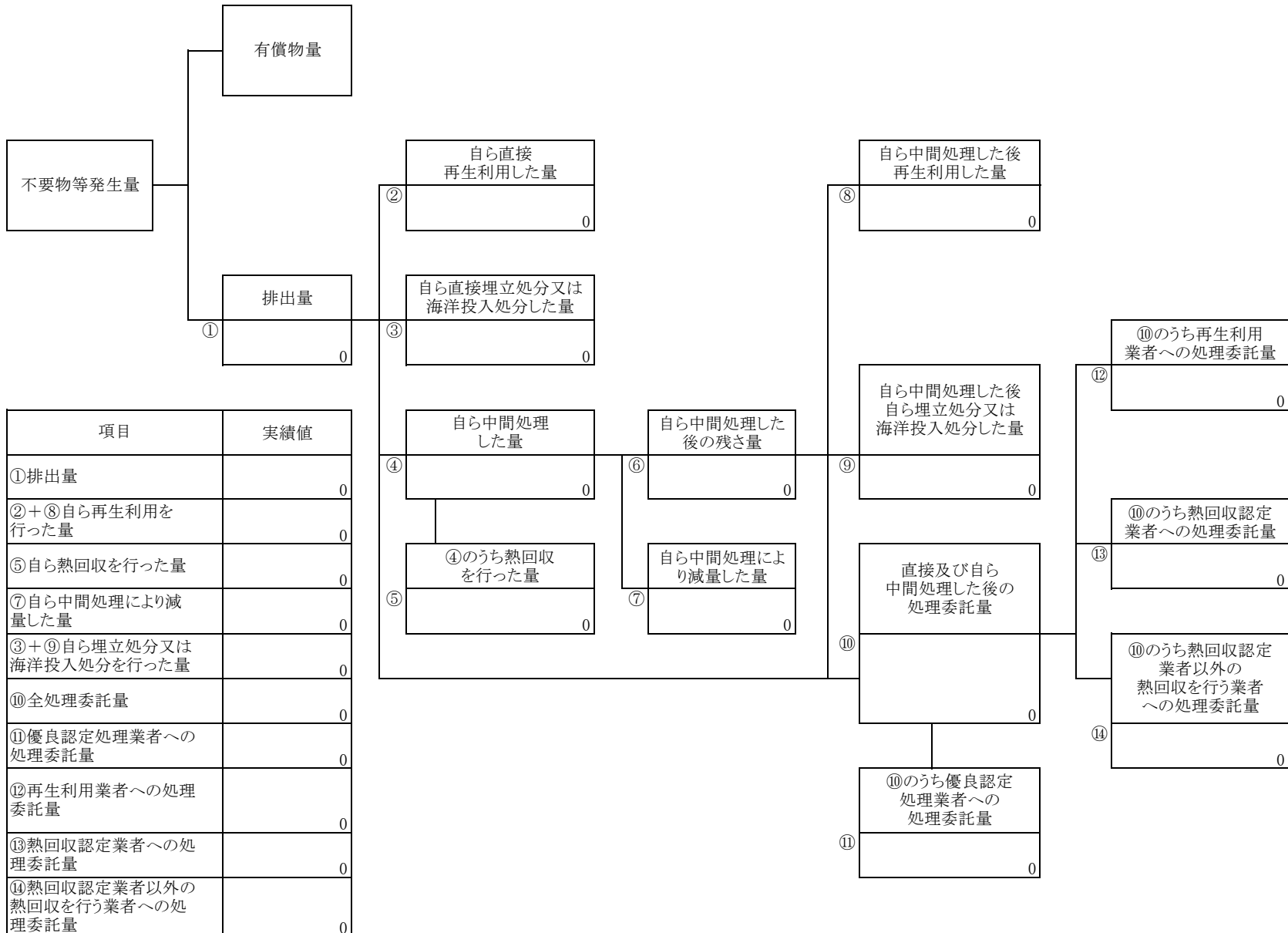
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



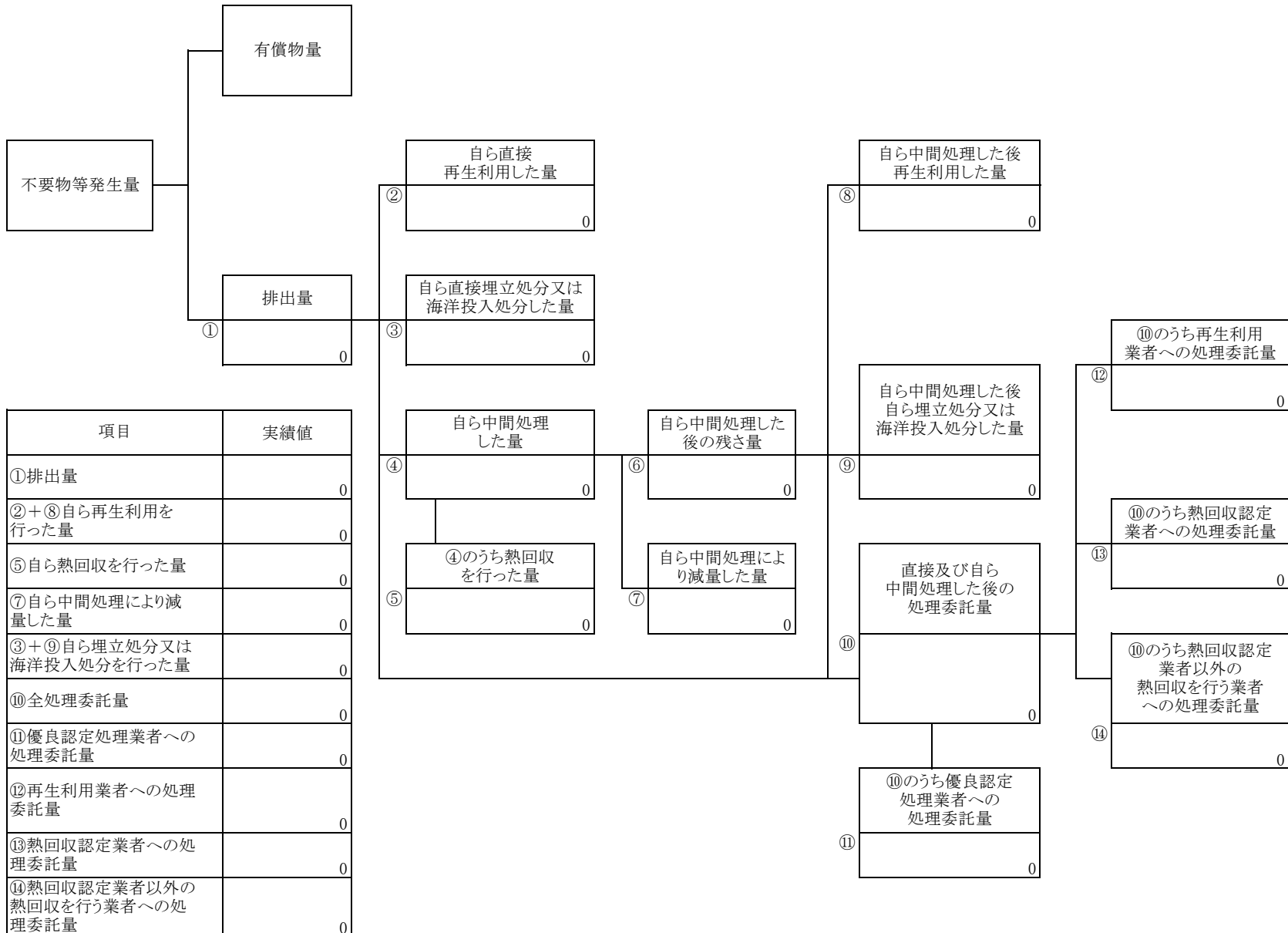
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動植物性残さ)



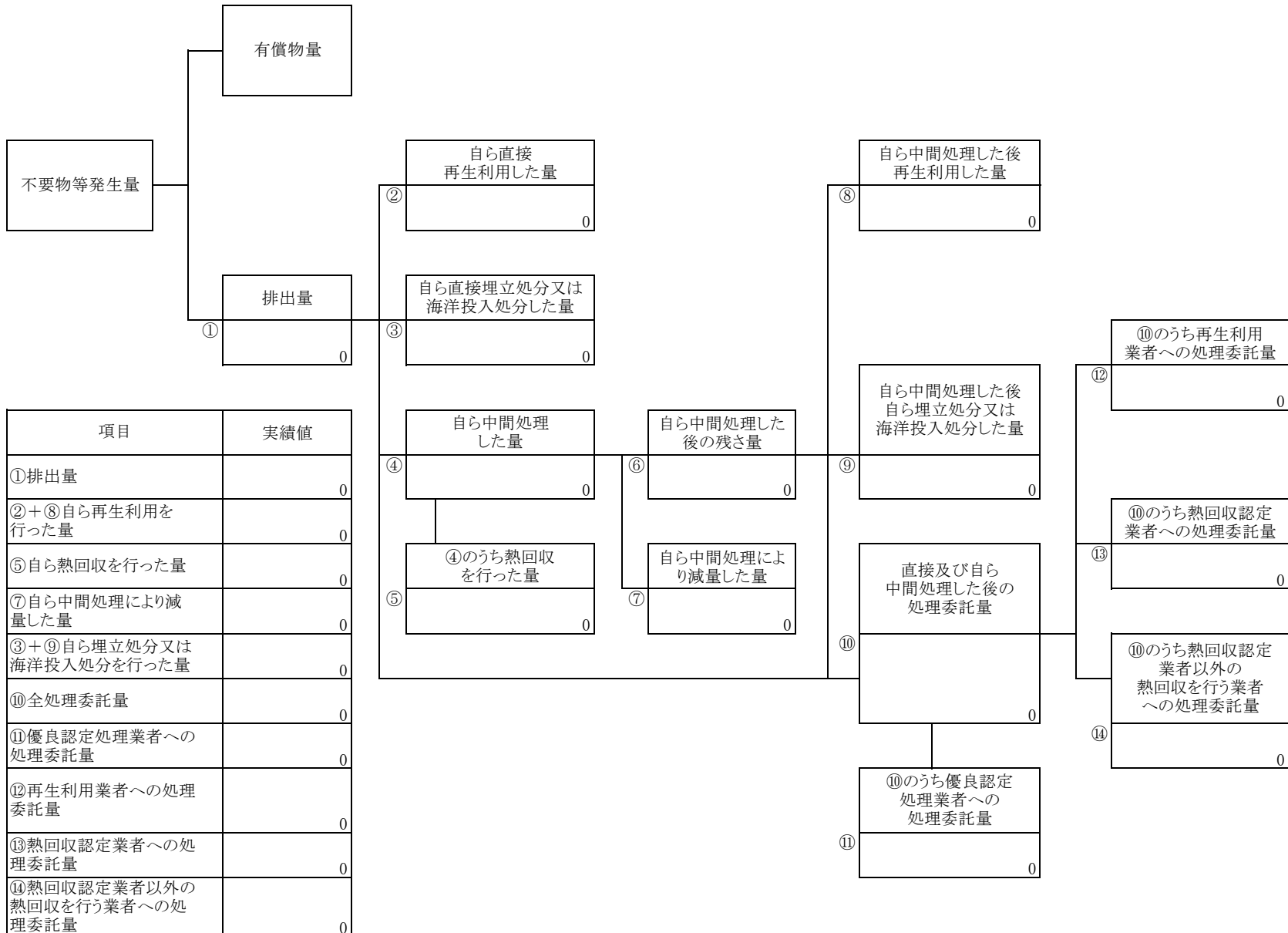
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物系固形不要物)



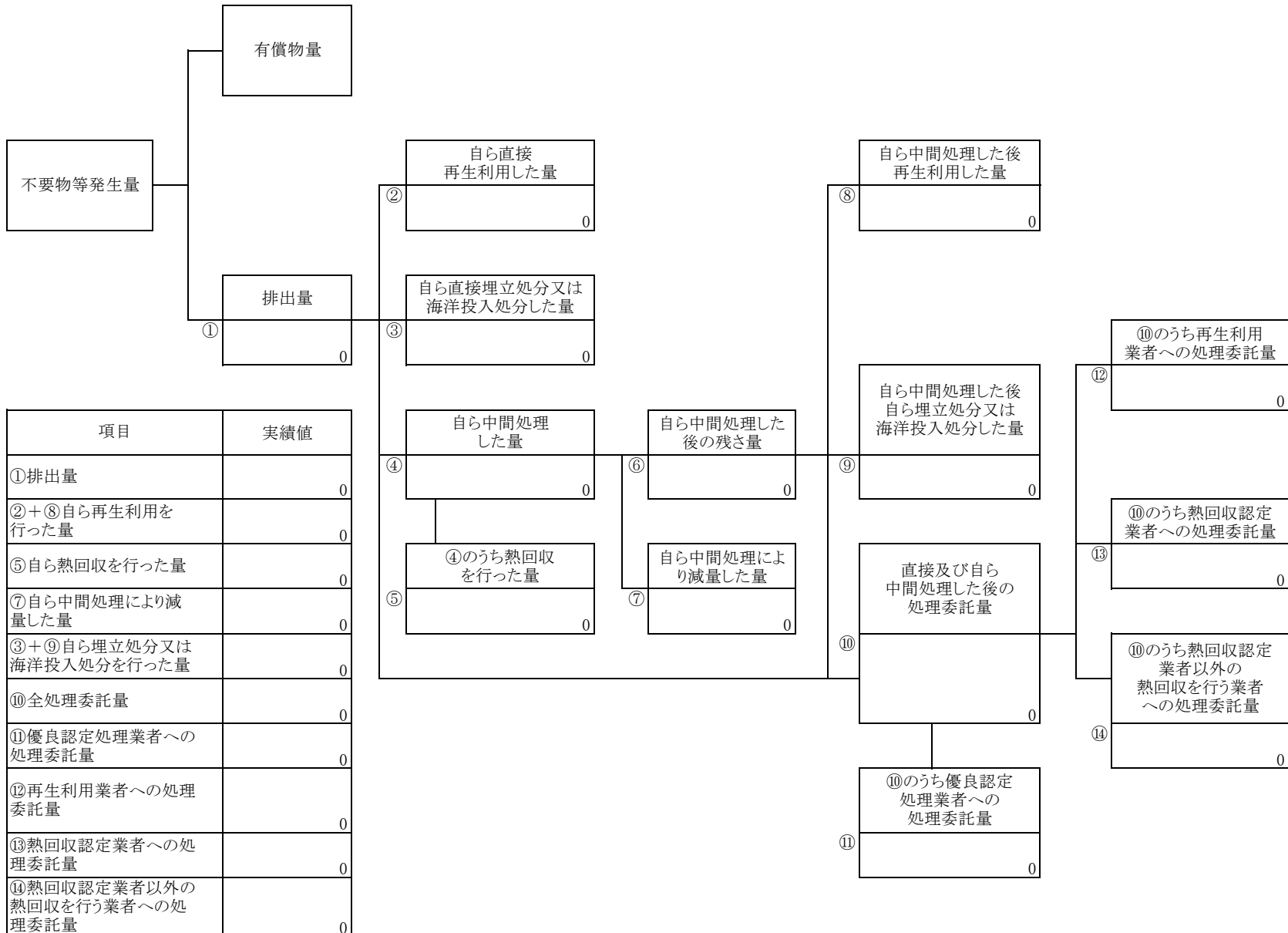
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物のふん尿)



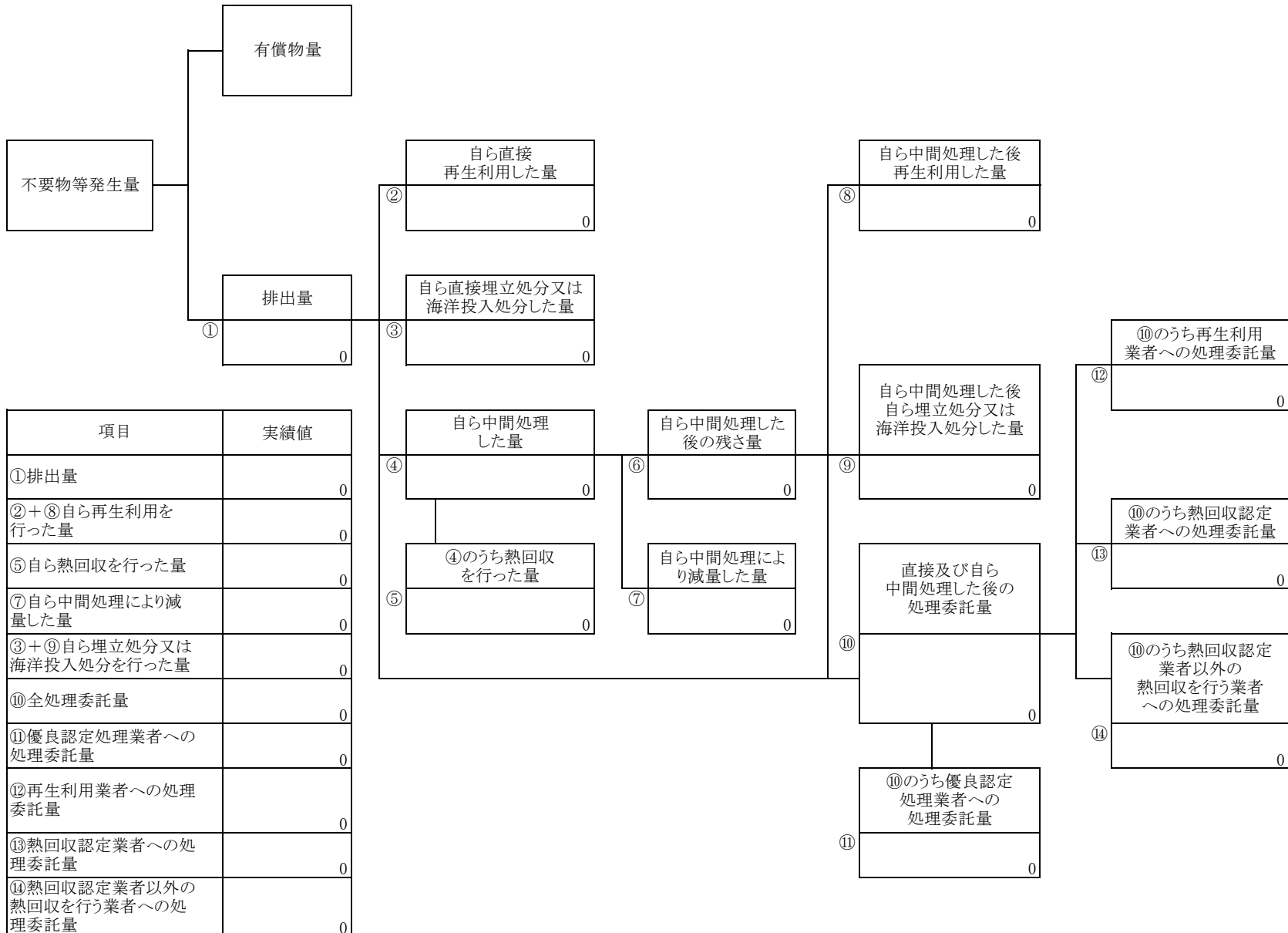
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物の死体)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 政令13号物(上記廃棄物の処理物であってこれらに該当しない))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

②

自ら直接
再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

0

⑧

自ら中間処理した後
再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

0

⑪

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

0

⑫

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

0

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

0

⑭

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

④

自ら中間処理した量

0

⑤

④のうち熱回収を行った量

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理により減量した量

0

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。